

松 全国初の事業系廃棄物協組

若 設立は11月1日 マークも決定

会津若松市で計画されている事業系一般廃棄物での設立総会を開く。

全国初の協業組合の設立が十一月一日になることが、八日までに分かった。設立

同組合は、複数の収集運搬業者と排出事業所が連携し、地区別に作業を分担、共同運行するなどして業務

の効率化を目指すほか、ごみ袋を有料化し排出量に応じた合理的な料金設定にすることでごみ排出の削減を狙う。

同協組の母体となる会津環境保全研究会は、福島大などと連携し十月から三カ月間、モデル事業を行う。事業のシンボルとしてごみ

袋にデザインされるマークも、公募を経て同日までに決定。「マーク全体が笑顔のように見え、環境に優しい事業による明るい未来を想像させる」として、武田真奈さん(会津若松市)の作品を採用した。表彰式は設立総会と同じ二十九日に行われる。



武田さんの作品を採用した事業シンボルになるマーク